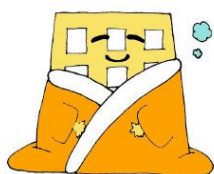


北海道外断熱見学 2012.5.26~27



マンション学会が北海道でおこなわれ、見学会で外断熱をしたマンションに行きました。

東区Fマンション



1997年竣工SRC造14階建て 61戸 2010年改修工事
乾式工法 断熱材ESPボード t50mm 外壁はガルバリウム鋼板 t0.4mm

S千歳マンション



Wing12 (築12年 62戸)
2011年外断熱改修



Wing3 (118戸)、Wing4 (108戸) が現在改修中
1992年竣工 RC壁式構造5階建て
外壁を湿式外断熱工法で改修し、屋根は既存防水層を残して、断熱材(硬質ウレタンボード t50)と改質アスファルト露出防水をしている。窓は専有部、共用部共に複層ガラスに交換。



事務所設立20周年

快適・長生き100年

住み続けるための

住宅・マンションのスマート化

設立20周年に寄せて

1992年11月に「住宅とまちづくり」のことは何でも相談できる場として事務所を設立。

事務所設立15年に法人との中間的形態として組織化しました。

主にマンションや団地などを総合的に診断し、長期営繕計画作成、大規模改修の工事企画、工事監理、規約変更や管理システムの見直し、顧問として管理組合の運営助言などをおこなっています。

戸建て住宅、鉄骨の建築、別荘などの新築設計及び工事コーディネート業務などもおこなっています。

1994年NPO法人設計協同フォーラム設立に参加しました。

「安全・安心・快適で長く住みつけられること」を柱にさまざまな方々とネットワークをつくって歩んできました。近年では、建物の快適性と長寿命化、省エネ化、環境とまちづくりということでは、ドイツに行き、ブックレット『長生きマンション・長生き団地』をつくりました。防災では、阪神、鳥取、新潟中越、福岡西方沖、新潟中越沖、岩手・宮城内陸、台湾の被災地に行ったことにも触れ東日本大震災後の2011年9月に『マンションの防災マニュアル』を出版しました。

これからも、体験・学び・実践をさらに広げ、みなさまといっしょに成長し、知的弾力性を培っていきたいと思っています。



6月24日(日)板橋区立グリーンホールで、記念企画としてセミナーを開催しました。

これまでの主な著書

著書

- 「マンション管理士が教える だまされない鉄則100」 講談社
- 「長生きマンション・長生き団地」 東信堂
- 「大地震に備える!!マンションの防災マニュアル」 住宅新報社

主な共著

- 「マンション学事典」(マンションエイダー) 日本マンション学会編 民事法研究会
- 「専門家からみた住まいの問題」住宅VOL.56, 2007
- 「建築設備と配管工事—高齢社会における設備」
- 「東京問題 第5章防災と都市政策」クワイカもがわ
- 「東京の住宅政策—地域居住政策の提言」
- 「環境問題資料集」旬報社
- 「自分らしく住むためのバリアフリー」岩波書店
- 「すぐに役立つマンション管理ガイド」 日経アーキテクチュア
- 「大震災10年と災害列島」「大震災100の教訓」クワイカもがわ
- 「ライブラリー生活と科学 生活と住まい」コト社
- 「わが家の間取り これに決めた」事例プラン150 講談社
- 「住宅白書2000年」日本住宅会議ドメス出版
- 「マンショントラブル絶対解決」新日本出版社
- 「地震・火災に強い家の建て方・見分け方」講談社
- 「生活派建築宣言」東洋書店

表彰 新建築家技術者集団「新建賞」

- 1987年正賞「住み続けられるマンションを目指して」
- 2009年正賞「ビンテージマンション・ビンテージ団地」

◆住宅・マンションのこと、なんでもご相談下さい ◆快適・長生き 100年マンション・団地

住まいとまちづくりコープ

〒174-0072 板橋区南常盤台1-38-11 福興電気1F 千代崎一夫/山下千佳

TEL 03-5986-1630 FAX 03-5986-1629

Mail sumaimachi@sumaimachi.net http://sumaimachi.net



事務所設立20周年記念 快適・長生き100年セミナー 住み続けるための住宅・マンションのスマート化

2012年6月24日(日) 板橋区立グリーンホール1階ホール 12時30分～パネル展
<1部 13時30分～17時><2部 17時30分～20時>

<1部> 13:30 開会

記念講演: 「エコ住宅づくりと省エネ・エコライフ」

演 恵介氏(エコ住宅研究家、大阪ガス㈱エネルギー・文化研究所

顧問)

「住みやすく長持ちし、健康で快適に暮らせ、そして環境を壊さない。好ましい自然とは親しみ、厳しい自然には守りを固める。」築27年のRC造の住宅をエコハウスに再生し、楽しく賢く省エネルギーを実践するお話を伺いました。

15:30～17:00 事務所設立20年のステップとジャンプ

「快適・長生き・安心な住まいとまちづくり」

千代崎一夫/山下千佳

<2部> 17:20～20:00 記念交流会

松平晃氏 トランペット演奏
松本克巳氏 ヴァイオリン演奏



エネルギー消費をグラフ化するなど、映像を使って具体的にわかりやすい。何より「省エネすること」が楽しんでいる様子が伝わってきました。



大阪から大阪市立大学名誉教授、マンション学会理事の梶浦恒男先生に挨拶をしていただきました。

梶浦先生には、事務所の10周年、15周年で講演をしていただいています。



記念交流会 料理はすぐになくなりました。



100名近い方々で会場はいっぱいになりました。



松本克巳さん(日本フィル)

20周年記念誌をつくりました 人も建物も快適・長生き100年をめざして 「住み続けるための住宅・マンション未来Book」

建物の快適性と長寿命化、省エネ化、環境とまちづくりを学ぶということでは、2008年に「団地再生ドイツツアー」に参加し、ライネフェルデ市の減築や改築、ベルリン・フランクフルトなどの長生き団地を見てきました。

2009年は個人旅行でしたが、世界遺産に登録されたベルリンの6つの住宅団地を駆け足で見ることができました。

日頃の業務や活動と併せてドイツの紹介などをまとめたものが、新建建築家技術者集団の09年新建賞正賞「ピンテージマンション・ピンテージ団地」を受賞し、その年の3月に『長生きマンション・長生き団地』(東信堂)のブックレットを出版しました。2010年には、建築の専門家と住民の方、研究者の方などで、ベルリンの世界遺産に登録された6つの集合住宅とフライブルクのエコロジー住宅地を中心にまわり、快適で人にも環境にもやさしい長生き住宅団地やまちづくりについて学び、身近なところで少しでも実践して行きたいと事務所でツアーを企画しました。

ツアーに参加していただいた方の協力を得て、「印象記」をつくることもできました。その際に、ツアー1年を目途に「長生き団地と環境都市視察」で得たことを住民の方に知ってもらうための小論文集を作成する予定で「長生き団地-ベルリンの世界遺産」「環境都市フライブルク」「インターパウとベルリンハンザ地区」とテーマを分けて原稿をお願いしました。まとめている矢先に、東日本大震災が起き、発行が中断してしまいました。

事務所設立20周年にあたり「快適・長生き100年 住み続けるためのマンションのスマート化」のテーマに沿った内容の冊子として、お預かりしていたものとあらためてお願いしたものをまとめることができました。

日本でマンションをどのように考えて行くべきか、また広くは住宅や建物のあり方を考えて行くヒントになると確信しています。

800円(税別)

未来Bookをご希望の方は、当事務所までご連絡ください

外断熱、耐震ドア、緊急地震速報のメーカーさんに協力展示をしていただき、会場が一層にぎやかになりました。



愛犬リブも参加しました。

